

# 1. はじめに

広島県医師会長

広島県腫瘍登録委員会委員長

確 井 静 照

1973年4月1日から開始しております広島県腫瘍登録事業は、各施設のご理解とご協力のおかげで、2009年も生検症例52,882件、解剖症例104件と多数の登録をいただき、2009年末現在で総登録受付件数は963,493件に達しました。誠に有り難く感謝申し上げます。

広島県内でがん登録事業が開始されたのは全国でも屈指の早い時期であり、私たちは本事業をより発展させ、県民のがん対策、がん診療に貢献してまいりました。

平成17年には、「広島県地域がん登録事業」（実施主体：広島県）と一体化し、全国に先駆け、正確な病理診断に裏付けられた地域がん登録を進めております。これらのことは、平成20年3月に策定された「広島県がん対策推進計画」にも、「広島県地域がん登録システム事業」（地域がん・腫瘍）として明記されており、本事業は広島県におけるがん対策の重要な羅針盤となっております。

本年は、各種要綱・要領・規定・規約について制定より相当数の年月が経過したことから、現状に即した形で全面的な改定を行いました。（後掲）これらの制度と、登録医療機関からの協力の両輪により、さらなる腫瘍登録事業の発展を図っていくことができます。

さて、広島県医師会では、この腫瘍（組織）登録のデータ集計を基に、毎年報告書を作成し発行しており、この度、広島県腫瘍登録報告書 No.33を作成しました。

最初に「グラフで見る2005年のデータ」として、2005年時の広島県内における腫瘍組織登録の結果をまとめました。詳細は「2005年のデータ集計」として添付していますのでご覧下さい。また、特定解析臓器では、尿路系腫瘍を取り上げ、「グラフで見る1973～2004年の尿路系腫瘍」として32年間のまとめを行いました。

今後は、いかに本事業の成果を県民に還元するかを考えながら、事業の推進を図りたいと考えており、さらに本事業開始前1973年以前の病理診断情報についても、関係各病院の協力を得て収集作業を進めております。

本事業に対して、何卒ご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。